



福祉人材センター × 介護福祉士会

# ふくし・かいご通信

2022  
7月  
No. 10



発行: 社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

北海道福祉人材センター  
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

## 今月は… 私のかいごストーリー

一般社団法人北海道介護福祉士会 副会長 坪坂 晶悟 氏  
(医療法人アンリー・デュナン会 国際人材開発室 教務介護主任)



### エピソード1 「福祉との出会い」

私が、福祉の道を志すきっかけとなった出来事は、高校3年の夏に旭川市内の共同作業所を訪問したことです。生徒会活動として、旭川市内の共同作業所を訪問し、作業活動を行われている利用者、職員の方が生き生きと活動されている様子を見て一緒に作業活動を体験し、「福祉の仕事をしたい」と強く思ったことがきっかけです。

その後、旭川市内に開校した新設の介護福祉士養成校へ進学しました。2年間の学生生活を経て、旭川市内の介護老人保健施設で約7年間（入所1年、通所リハビリ6年）勤めました。この老人保健施設での経験が人間として大きく成長できたと感じています。特に、通所リハビリでは、利用者への接遇マナーの大切さを実感することができました。それから、利用者1人ひとりがどのようなニーズを抱えているのかについて観察する力を養うことができたと思います。

また、介護を通して、専門学校で学んだ介護技術をベースに、利用者への声掛けの方法やタイミングなどのコミュニケーション方法から、利用者の抱えている生活課題について把握し、アセスメントすることの大切さとケアの展開についてスキルアップができたと感じています。

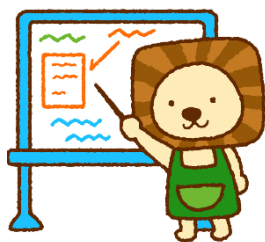


### エピソード2 「介護福祉士養成校での教員として気がついたこと」

介護老人保健施設で働いていましたが、縁あって自分の母校である介護福祉士養成校で教員として働くこととなりました。

教員1年目は「教員として、たくさんの方のことを学生に伝えなければ」と頭でっかちになっていたと思います。とにかく、学生には情熱をもって接していくことが大切と思い込んでいました。教員2年目以降は、肩の力を抜いて学生とかかわることができるようになったと思います。一人ひとりの学生さんが持っている良い部分を活かしつつ、介護福祉士として成長していくために必要なことについてアドバイスができるようになったのではないかと思います。

また、学生の実習先への実習巡回を通じて、旭川市内や道北エリアの福祉施設の状況についても知ることができました。このことによって、介護現場で働く介護福祉士のスキルアップのためには、どのようなことが必要か、介護福祉士になりたいと思ってもらうためにはどのようなことが必要かについて考えるきっかけになりました。



しかし、介護福祉士になりたいという入学希望者が減少してきたこともあり、学科が閉科することになり、活動の場を移すことになりました。

### エピソード3 「外国人介護職員との出会い」

その後、現在の医療法人で働くこととなり現在に至ります。仕事の内容としては、外国人介護職員（EPA 介護福祉士候補者）の介護福祉士国家試験の学習指導と生活指導です。正直な気持ちとして、入職するまでは、日本人の介護は日本人が行う方が絶対に良いと思っていました。

しかし、実際にフィリピン人の介護職員の学習指導や仕事の様子を見て、自分の偏った考えは間違いであると気づくことができました。彼らは、非常にまじめで熱心に仕事に取り組みます。日本語も、熱心に勉強し日常会話には苦勞しないぐらい会話ができるようになる人が多いです。何よりも、利用者とかかわる際の自然な笑顔は利用者だけでなく、職員も笑顔にしてくれます。自然な笑顔を作ることが難しい人もいます。人の心を穏やかにする自然な笑顔は、フィリピン人の介護職員に多いように感じます。これは、フィリピン人の明るくポジティブな国民性が関係していると考えます。

さて、介護福祉士国家試験の学習指導を通して、日本語についても指導することがあります。その中で気をつけていることは、標準語を使って日常会話ができるように、適切な言葉遣いを心がけています。例えば、「このプリント、明日までにやってきてね。」と話してしまいがちなところです。そこを「これから配るプリントは、今日、家に帰ってから学習してください。明日の学習で使いますから忘れないで持ってきてくださいね。」という風に、丁寧にやわらかい言葉で話すように心がけています。



外国から介護の仕事をするために、わざわざ日本へ来てくれているわけですから、日本人と同様かそれ以上に大切に育てていくことを考えなければなりません。

現在、私の働く法人には外国人介護職員は、2つの国から17人（フィリピン人13人、ベトナム人4人）が働いています。それぞれ、EPA 介護福祉士候補者、EPA 介護福祉士、特定技能生、技能実習生と就労の категорияは違いますが、一生懸命に働いてくれています。これから、日本では外国人の介護職員の重要性が大きくなっていくと考えます。その中で、日本人も外国人も併せて、介護職員全体の質の向上のために自分のできることに精いっぱい取り組んでいきたいと考えています。



## 次回は、「介護のワンポイント」です。



### 一般社団法人北海道介護福祉士会

介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に寄与している団体です。 ★ 新入会員募集中 ★

TEL&FAX 011-222-5200



北海道介護福祉士会  
HPリンク

## 北海道福祉人材センターからのお知らせ

北海道福祉人材センターでは、8月19日（金）に福祉人材ステップアップ講習会 言語聴覚士が伝える安心・快適な食事介助を開催します！

詳しくは、ホームページをご覧ください。 <https://hfjc.jp/event/sutepu2022-8/>

北海道社会福祉協議会・北海道福祉人材センター

令和4年第1回  
ステップアップ  
講習会  
R4.8.19開催

【テーマ】  
言語聴覚士が  
伝える  
安心・快適な  
食事介助

申し込みフォーム  
QRコード

ご不明な点は、お気軽にお問合せください。

発行：北海道福祉人材センター TEL011-272-6662